



Digital Garage

## 平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 デジタルガレージ

コード番号 4819 URL <http://www.garage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
コーポレートストラテジー本部 管掌

(氏名) 曾田 誠

TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	5,307	55.2	△51	—	167	△71.9	213	△59.9
24年6月期第1四半期	3,418	52.9	437	—	594	—	533	—

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 △126百万円 (—%) 24年6月期第1四半期 497百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	980.38	979.50
24年6月期第1四半期	2,538.30	2,536.02

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第1四半期	48,096	20,132	41.5	91,532.67
24年6月期	49,338	20,476	41.1	93,072.17

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 19,936百万円 24年6月期 20,271百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	74.7	150	△50.5	700	5.2	350	△42.7	1,606.96
通期	25,000	67.7	1,650	1.8	2,800	3.4	1,700	△19.3	7,805.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) econtext Asia Limited 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期1Q	219,087 株	24年6月期	219,084 株
25年6月期1Q	1,284 株	24年6月期	1,284 株
25年6月期1Q	217,802 株	24年6月期1Q	210,016 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更したため、前年同期比較にあたっては前第1四半期連結累計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。変更の内容につきましては、「3. 四半期連結財務諸表(5)セグメント情報等」に記載のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中国や欧州をはじめとする海外経済の減速による影響を受けて、景気の先行きは不透明な状況でありました。一方で、当社を取り巻くインターネット及びブロードバンド関連の環境につきましては、平成24年6月末時点でブロードバンド契約数が約4,181万となるなど、若干鈍化傾向にあるものの継続的な拡大基調にあります。

このような事業環境の下、当社は当連結会計年度より「Lean Global」という企業コンセプトのもと、新中期3ヵ年計画をスタート致しました。アジアを含む新興国でのインターネット人口の急拡大やスマートフォン等の高性能モバイル端末の普及など、急激なインターネットビジネスの環境変化へ適応するために、ペイメント、マーケティング、インキュベーションの各事業別に経営戦略を定め、米国シリコンバレー発の最先端ビジネスを日本において最適化し、経済成長が著しいアジア市場へとつなぐ、Lean(無駄のない)でGlobal(地球規模)なインキュベーションストリームを生み出していくことを目指してまいります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、前述のとおり報告セグメントを一部変更致しました。平成24年4月に株式の取得により連結子会社としたベリトランス(株)の連結業績への収益貢献が開始することに合わせ、前連結会計年度までハイブリッド・ソリューション事業に含めていたEコマース等の決済事業を「ペイメント事業」として独立させることとし、広告・プロモーションに関連する事業を「マーケティング事業」と致しました。また、従来のベンチャー・インキュベーション事業とメディア・インキュベーション事業を統合して、「インキュベーション事業」と致しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、ベリトランス(株)の収益貢献が開始したことに加えて、当社イーコンテクトカンパニーのEコマース等の決済関連事業も順調に伸長するなどペイメント事業が業績を牽引し、また、マーケティング事業も底堅く推移した結果、連結売上高は5,307百万円(対前年同期比1,888百万円増、同55.2%増)と増収となりましたが、インキュベーション事業におきましてベンチャー企業への投資に係る保有株式の売却がなかったため、営業損失は51百万円(前年同期は営業利益437百万円)と対前年同期比で減益となったものの、前第4四半期連結会計期間と比べ増益を実現し、足元の事業は拡大基調にあります。また、持分法による投資利益の計上等により、経常利益は167百万円(対前年同期比427百万円減、同71.9%減)、四半期純利益は213百万円(対前年同期比319百万円減、同59.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ペイメント事業]

ペイメント事業におきましては、Eコマースにおける決済ソリューションの提供を行っております。決済関連事業においては、決済件数、取扱高が引き続き堅調に伸長する一方、事業統合のシナジー発揮を企図して、新規顧客獲得のための共同営業や仕入れ一元化によるコスト削減にも着手致しました。また、平成24年9月には、日本で成功したビジネスモデルをEコマース市場が成長著しいアジア各国に展開するために、連結子会社 econtext Asia Limited を香港に設立致しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,810百万円(対前年同期比1,881百万円増、同202.6%増)、営業利益は308百万円(対前年同期比154百万円増、同99.9%増)となりました。

なお、当社イーコンテクトカンパニーは、平成24年10月1日付で(株)イーコンテクトとして当社より分社化しております。

#### [マーケティング事業]

マーケティング事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティングを行っております。広告・プロモーション関連事業ではインターネット広告などのウェブマーケティング領域が順調に拡大を続けておりますが、モバイル・コンテンツ事業への戦略的投資を開始した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,364百万円(対前年同期比458百万円増、同24.0%増)、営業利益は129百万円(対前年同期比13百万円減、同9.5%減)となりました。

[インキュベーション事業]

インキュベーション事業におきましては、国内外のベンチャー企業への投資・育成及びアジャイル開発の手法を用いたソフトウェア開発等を行っております。アジャイル開発によるソフトウェア開発事業では、南米での事業買収を行い、米国のみならず、アジア・欧州・南米をカバーする開発ネットワークを完成し、本格的な事業展開を開始致しました。しかし、ベンチャー企業への投資事業におきまして、保有株式の売却を行わなかったため、当第1四半期連結累計期間における売上高は131百万円(対前年同期比451百万円減、同77.4%減)、営業損失は258百万円(前年同期は営業利益387百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,732百万円減少し、26,272百万円となりました。この主な要因は、前連結会計年度に係る法人税等の支払、配当金の支払等により現金及び預金が1,113百万円減少した他、決済事業等に係る未収入金が461百万円、受取手形及び売掛金が197百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて490百万円増加し、21,823百万円となりました。この主な要因は、持分法による投資利益の計上等により投資有価証券が319百万円増加したことによるものの他、新規取得等により有形固定資産が72百万円、ソフトウェアが53百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて9,751百万円減少し、18,754百万円となりました。この主な要因は、条件変更等による長期借入金への借換等により短期借入金が8,340百万円、決済事業等に係る預り金が919百万円、法人税の支払等により未払法人税等が650百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて8,853百万円増加し、9,209百万円となりました。この主な要因は、条件変更等による短期借入金からの借換等により長期借入金が8,866百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて344百万円減少し、20,132百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により213百万円増加した一方、剰余金の配当により217百万円減少したことによるものの他、投資有価証券の時価評価等によりその他有価証券評価差額金が244百万円、為替換算差額調整勘定が86百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年8月13日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、香港特別行政区にecontext Asia Limitedを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,308,492	11,195,472
金銭の信託	3,404,967	3,375,568
受取手形及び売掛金	2,479,801	2,282,044
営業投資有価証券	1,904,227	2,031,608
投資損失引当金	△93,338	△121,920
商品	940	1,366
仕掛品	34,110	28,467
原材料及び貯蔵品	547	3,446
未収入金	7,577,965	7,116,680
その他	404,908	376,405
貸倒引当金	△17,286	△16,791
流動資産合計	28,005,334	26,272,347
固定資産		
有形固定資産	912,588	985,005
無形固定資産		
ソフトウェア	959,106	1,012,891
のれん	12,104,667	12,243,377
その他	16,341	16,107
無形固定資産合計	13,080,115	13,272,376
投資その他の資産		
投資有価証券	4,299,840	4,618,894
その他	3,077,308	2,984,026
貸倒引当金	△36,553	△36,173
投資損失引当金	—	△316
投資その他の資産合計	7,340,594	7,566,432
固定資産合計	21,333,298	21,823,813
資産合計	49,338,633	48,096,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,154,325	1,125,059
短期借入金	10,640,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	100,008	208,342
未払法人税等	740,945	90,164
賞与引当金	151,453	30,344
預り金	14,956,391	14,036,798
その他	762,681	963,740
流動負債合計	28,505,805	18,754,449
固定負債		
長期借入金	183,308	9,049,972
退職給付引当金	64,717	65,309
その他	107,870	94,005
固定負債合計	355,896	9,209,286
負債合計	28,861,701	27,963,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,017,283	6,017,520
資本剰余金	9,703,334	9,703,571
利益剰余金	4,505,145	4,500,875
自己株式	△69,840	△69,840
株主資本合計	20,155,922	20,152,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76,380	△321,178
為替換算調整勘定	191,575	105,140
その他の包括利益累計額合計	115,195	△216,037
新株予約権	31,589	31,115
少数株主持分	174,223	165,220
純資産合計	20,476,931	20,132,425
負債純資産合計	49,338,633	48,096,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,418,613	5,307,030
売上原価	2,374,450	4,257,068
売上総利益	1,044,163	1,049,962
販売費及び一般管理費	606,464	1,101,179
営業利益又は営業損失(△)	437,699	△51,217
営業外収益		
受取利息	3,839	893
持分法による投資利益	225,541	333,320
その他	5,101	65,360
営業外収益合計	234,481	399,573
営業外費用		
支払利息	8,973	47,124
支払手数料	1,502	50,000
為替差損	20,764	48,488
その他	46,659	35,564
営業外費用合計	77,898	181,177
経常利益	594,281	167,179
特別利益		
持分変動利益	9,516	18,603
投資有価証券売却益	—	149,439
特別利益合計	9,516	168,043
特別損失		
固定資産除却損	—	923
投資損失引当金繰入額	—	316
特別損失合計	—	1,239
税金等調整前四半期純利益	603,798	333,982
法人税、住民税及び事業税	63,628	111,029
法人税等調整額	—	18,425
法人税等合計	63,628	129,455
少数株主損益調整前四半期純利益	540,170	204,527
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7,085	△9,003
四半期純利益	533,084	213,530

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	540,170	204,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,103	△244,798
為替換算調整勘定	—	△86,435
その他の包括利益合計	△43,103	△331,233
四半期包括利益	497,066	△126,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,980	△117,703
少数株主に係る四半期包括利益	7,085	△9,003

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ペイメント 事業	マーケティング事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	928,834	1,906,623	583,155	3,418,613	—	3,418,613
セグメント間の内部 売上高又は振替高	657	4,247	2,800	7,705	△7,705	—
計	929,492	1,910,871	585,955	3,426,319	△7,705	3,418,613
セグメント利益	154,480	142,686	387,241	684,409	△246,710	437,699

(注) 1. セグメント利益の調整額△246,710千円には、セグメント間取引消去27,432千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△274,142千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ペイメント 事業	マーケティング事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,810,412	2,364,965	131,652	5,307,030	—	5,307,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	359	5,390	547	6,297	△6,297	—
計	2,810,771	2,370,355	132,200	5,313,327	△6,297	5,307,030
セグメント利益又は 損失(△)	308,835	129,137	△258,360	179,612	△230,829	△51,217

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△230,829千円には、セグメント間取引消去52,941千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,771千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントは「ハイブリッド・ソリューション事業」、「メディア・インキュベーション事業」及び「ベンチャー・インキュベーション事業」の3区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「ペイメント事業」、「マーケティング事業」及び「インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

この変更は前連結会計年度において、株式の取得により決済業務等を行うベリトランス(株)を連結子会社としたことや外国子会社の設立等の大幅な企業集団の状況の変化を契機として、今後のグループ全体のグローバル展開や事業戦略等を踏まえて、報告セグメントの見直しを行ったものであります。

これにより、「ハイブリッド・ソリューション事業」に含めておりましたEコマース等の決済業務等を「ペイメント事業」として独立セグメントに区分し、「ハイブリッド・ソリューション事業」及び「メディア・インキュベーション事業」に含めておりました広告/プロモーション事業等を「マーケティング事業」として統合し、「メディア・インキュベーション事業」及び「ベンチャー・インキュベーション事業」に含めておりましたベンチャー企業への投資・育成、開発支援事業等を「インキュベーション事業」として統合しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。